

スポーツのまちづくりの第2ステージに向けて

スポーツフォーラム よこすか 2023

報告：林 但

1. 日時；2023年2月6日(月) 14:30～16:15 2. 場所；ヨコスカ・ベイサイド・ポケット
3. 主催；ナショナルトレーニングセンター拡充施設・横須賀誘致委員会
4. 参加；誘致委員会、議員、スポーツ関係団体、報道と一般300名で全体では400名弱？
5. 主な内容；**スポーツを軸にした街づくりのあり方や可能性について考えるフォーラム。**
第1部 室伏広治スポーツ庁長官 基調講演「スポーツを通じた地域活性化」
第2部 様々なジャンルの現役スポーツ選手や関係者7名によるパネルディスカッション
6. 内容；気づいたこと、感じたこと他
 - (1) 「スポーツを通じた地域活性化」について数年前から関心を持ち調査他考えています。
 - (2) 室伏長官の講演では、R4年3月に第3期スポーツ基本計画が出され、スポーツ庁の地域スポーツ課が地域活性化やスポーツに係ると話された。
 - ・スポーツ×ツーリズムでは、**地域資源（山・海・歴史・文化・自然・観光他）**を活かしたイベントと観戦を通して経済や人口拡大につなげる。
 - ・資源ごとの事例紹介があったが、北見市の事例が記憶に残る。横須賀市に例えれば、住民、民間企業、スポーツ団体、JR、京急などが**連携と協力、行政も縦割りではなく進めることが重要。**
 - (3) パネルディスカッションの出席の方は以下、
 - ・室伏広治氏；スポーツ庁長官。オリンピックハンマー投げ金メダリスト。
 - ・川村丈夫氏；野球。元横浜選手で現在は県民球団（フューチャードリームス）監督
地域支援パートナー2022年締結。
 - ・中山明宏氏；横浜マリノス社長。久里浜駅西側にマリノス練習場。
 - ・出口智嗣氏；BMX。アーバンスポーツを活用した連携協定。JapanCupYokosuka 誘致開催
 - ・須長由季氏；ウインドサーフィン、オリンピック代表。
 - ・田中大爾氏；(株)アドヒップ代表取締役社長。ストリートダンスコンテスト横須賀大会開催。
 - ・大久保嘉人氏；元サッカー日本代表。eスポーツ SWELL チームの取締役。水道局旧待機用宿舎を拠点。
- 1) テーマ：「**スポーツによる地方創生・まち作り**」で、パネリストが共通して気になった言葉は、①楽しい、充足感が生まれまた頑張ろうという雰囲気を作る。②環境はある、選手目線での指導や大会誘致③SNS他を使って発信④団体の連携と活用 などパネリストが個々の立場から全体でみる視点で熱く語った。
- 2) テーマ：「**スポーツを身近にどのように裾野を広げるか**」で、パネリストの発言順に以下の通りである。
 - ・田中氏：どこを目指すかの明確化する
 - ・室伏氏：自発的に行う雰囲気・場作り
 - ・中山氏：Jリーグの方針通り地域連携。久里浜練習場を核に横須賀市、JR、京急他と進めたい
 - ・出口氏：継続的な大会と楽しんでもらう機会を作りファンや選手の発掘
 - ・須長氏：ワールドカップ継続開催でオリンピック選手の発掘、アカデミー
 - ・大久保氏：eスポーツ。遊べる場所の確保
 - ・川村氏：公園でのキャッチボール禁止が多い、子供のころからできる場の確保。
7. 感じた事・気づいたこと
 - ①パネルディスカッションで司会者進行のもと簡潔にわかりやすく、熱く語るのが印象的。②プロ野球やJリーグなどの練習場を2つもつ市はない、活用しない手はない。③室伏長官の地域資源を活用して「横須賀」モデルを作って欲しい。 1枚にまとめるため感じた事、気づいたことなど中心に記載

以上